

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2015年12月号



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>



「ぷらいむ・たいむと私」

高橋 千鶴子（ぷらいむ・たいむ本町校職員）

「お帰りなさい」という言葉から、毎日のぷらいむ・たいむが始まります。—PRIME TIME—そう、とっておきの大切な時間。子どもたちが学校からお家に帰るまでの数時間。またある時は一日をお預かりして、宿題はもとより、鬼ごっこ、泥あそび、折り紙。最近では、ハロウィンの衣装づくりのお裁縫まで。スタッフやリーダーがその得意分野を駆使して、またある時は子どもたち主導の遊びに加わりながら、子どもたちが自由にのびのびと過ごせる特別な時間を作り上げていきます。

私がこの「ぷらいむ・たいむ本町校」にお世話になってから6年が経ち、その時の1年生はもう立派な中学1年生です。子どもたちの日々のようすをみつめながら、その成長の一過程に寄り添えたことは本当に嬉しい限りです。

初めてぷらいむ・たいむに足を踏み入れ、十分ににぎやかで、個性的な子どもたちと対峙した時、自分にはいったい何ができるのだろう…と戸惑いの方が大きかったことを覚えています。

日を追って、一人一人の顔が見えてくるようになると、子どもたちはその一人ひとりが十分に自分を発揮し、表現している様子が伺えてきました。

この子たちを真正面から受け止められるようになりたい！そのためには大人と子供を超えた一人の人間対人間として向き合うこと。そして常に「誠実」であることを心掛けてきたように思います。

そこから生まれてきた「信頼」が人を伸ばしてゆくならば、私もまた、子

どもたちによって、前を向いて来られたように感じます。

異なる学校、異なる学年のお友だちと過ごしながら、子どもたちは生活や社会のルールを学び、自分ではない他の誰かを受け入れる「柔軟な心」を学んでいきます。

“あるべき姿”が強く求められる時代において、のびのびとあるがままの自分を存分に発揮し、躓くことを恐れぬ強い心を持った子どもたちに育ってくださることを祈ります。

若いスタッフがそのための自由な空間づくりと活動を一生懸命に提案します。私はリーダーの一人としてそれらを支えていくことで、明日の子どもたちの新しい発見に繋がることができたのなら、どんなに嬉しいことでしょう。子どもたちに寄り添いながら、視線は同じ方向を向いていたいと思います。

世代を越えて尊敬できるスタッフにめぐり会えたことも、私をぷらいむに向かわせる原動力なのかもしれません。

さあ、午後三時。元気な「ただいま〜」が帰ってきます。ぷらいむ・たいむの始まりです。今日も頑張って参りましょう。



☆野外活動・サンデースクール特集☆

盛岡YMCAでは、夏・冬のキャンプだけではなく、小学生向け野外活動「アドベンチャークラブ」、幼児向け野外活動「森のようちえん」を、それぞれ月1回行っています。また、大学生リーダーたちの企画による「サンデースクール」も行っています。11月は、どのような活動だったのでしょうか？ 写真とともにご紹介します！

アドベンチャークラブ



11月のアドベンチャーは馬っこパーク・いわてへ行き、馬とふれ合ったり、乗ったり、お世話の体験をしてきました。

まずは馬っこパークに着いて、全員で馬についての豆知識を学びました！と言っても、「バクッとヒヒーン！にんじんレース」と称するグループ対抗リレーで楽しく馬について知らなかったことをたくさん知ることができました。このゲームで各グループの勢いもつき、そこから実際に馬に会いに行き、ミッションに挑戦しながら馬たちとふれ合ってきました。馬の大きさに圧倒される子もいましたが、馬の優しい目に見つめられ、

少しずつ触れるようになりました。

午後は馬小屋の掃除のお手伝いをしました。ボロ取りと呼ばれる、いわゆるフンなどの片付けです。しかし、嫌がる子は全くおらず、馬たちのために丁寧に作業に取り組んでいました。その後、一人ひとり馬に乗せてもらい、大満足の子どもたち。はじめは少し馬を怖がっていたような子も自分から近づいてなでてあげるほど、馬を好きになってくれていました。

動物との関わりはいつもと違う子どもたちの様子や成長を見ることができ、とても素敵な活動でした。

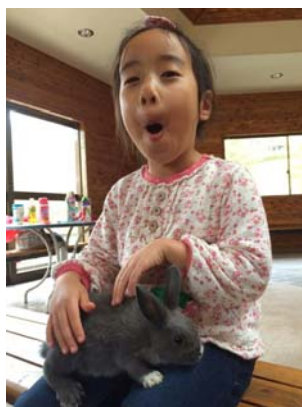


↑ 馬だけではなく、ヤギにも出会えました。



馬小屋のお掃除も一生懸命がんばりました！ ←

森のようちえん



森のようちえん11月活動は「どうぶつ大好き！ふれあいキッズ☆」ということで、盛岡市動物公園に行ってきました！

あいにくのお天気で1日中小雨が降ったりやんだりでしたが、7人の元気でやんちゃな子どもたちは雨なんて全く気にならない様子。動物公園に着くと真っ先に目に入ったサル山へ一気にダッシュで駆けて行くほど、子どもたちのテンションは高まっていました！！鬼ごっこをして公園内を移動したり、隠れている動物を探したり、サイのおしりとリーダーのおしりを比べてみたりしながら、動物公園を楽しく回りました。

ふれあいタイムではかわいいヒヨコやモルモット、子ウサギがきて、子どもたちもとても穏やかで優しい表情になってなでてあげていました。

今年度の活動も7回目となり、当初は自分の興味関心にばかり気を向けていた子どもたちでしたが、最近、子ども同士の関係性が強くなってきていると感じます。その他のことに関しても子どもたちの成長ぶりにはいつも驚かされます！



↑ ちいさくてあたたかい動物たちに、子どもたちは優しく触れていました。



おさるさんの像にみんなで登りました！ ←

サンデースクール



11月15日に行われた「肉まん作り」！！季節がら食べたくなるものであって、早いうちから申し込みが殺到しました！キャンセル待ちが出るほどの人気ぶりでした！！

さて、今回集まった子どもたちはやはり肉まんを作ったことなんてありませんでした。どのように作るのか、とても興味津々です。問題の肉まん作りはというと…

子どもたちはリーダーたちの指示をよく聞きながら、積極的に取り組んでいました！手がベタベタになって、「助けて〜！」と騒ぎながら生地を捏ねていたり、初めての包丁に緊張しながらも材料を切る作業に挑戦していたり、上手く肉を皮で包めなくて悪戦苦闘していたり、とてもたくさんの思いが詰まった肉まんが出来ました！予想以上の美味しさにみんな感動していました。お家でもぜひ作ってもらいたいですね！



サンデースクールは、大学生リーダーたちが企画し、事前に試作などの準備を重ねて行っているものです。こちらは試作の様子！ ←



こちらが試作段階の肉まん。 ←

→ こちらは当日。材料ひとつ切るのも真剣です！



→ おいしい肉まん、完成しました！



今回、キャンセル待ちで参加できなかった方、申し訳ございませんでした。次回の2月サンデー「恵方巻き作り」でお待ちしています！

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 11月報告書

①インターン生による活動報告

盛岡YMCAのインターン生として活動してくれている、あさりリーダーこと安久津理沙さんより、宮古での活動報告が届いています。以下は、安久津さんからのレポートとなります。



11/15(日)に住友商事インターンシップ中間報告会が行われ、盛岡YMCAインターン生として参加してきました。今回は、宮城・福島の方々にもお越しいただき、貴重なアドバイスをいただくことができました。

中間報告会では、インターン生それぞれが、今日までの活動と、活動を通して自分自身の成長した点について報告し合いました。被災地の傾聴調査から、対話の難しさを学んだ学生や、人と関わる難しさを体験し、自分とは何かを考えさせられた人、など様々な学びや成長があったことが分かりました。

また、今年は新たな取り組みとして、インターン生企画を行いました。全体を4グループに分けて、アイスブレイクを行ったり、「岩手県を盛り上げるために若者にできること」というテーマで、テーマトークを行いました。普段なかなかお会いする機会が少ない方と関わる機会があり、良い雰囲気で行うことができました。

インターンシップもいよいよ後半戦に突入しました。活動を通してたくさん学び、そして、それらを自分自身の成長につなげていきたいと思っています。今後も、私らしく、元気に活動していきたいです。

②11月アドベンチャー「ヤマメと学ぼう！」開催！



今月の宮古アドベンチャーでは、ヤマメの卵の採卵体験をしたり、近くの野山で遊んだり、一日中自然を満喫してきました。行きのバスの中では、替え歌を歌いながら盛り上がり、子ども同士やリーダーたちと打ち解け合う様子がうかがえました。ヤマメの採卵体験では、子どもたちは魚を見て大興奮。お腹を押

て卵を押し出す作業に、真剣になる子どもたちの様子が見られました。卵を出したヤマメはすぐに死んでしまいます。この魚の特徴から、命の大切さを感じとれたのではないのでしょうか。お昼ごはんは、みんなで焼いた魚やつみれ汁を頂き、お腹も心も温まりました。午後は、外で木の実や湧き水を見つたり、野山を駆け回って遊んできました。自然を満喫しながら、寒さに負けず、元気いっぱい活動してきました。

宮古ボランティア団体センターの12月アドベンチャーは、「クリスマスリース作りや焼き芋をします!!」です。沢山のご参加をお待ちしております。



ヤマメの採卵と受精の体験をしました。このお昼ごはんは、みんなで焼いた魚やつみれ汁を頂き、お腹も心も温まりました。午後は、外で木の実や湧き水を見つたり、野山を駆け回って遊んできました。自然を満喫しながら、寒さに負けず、元気いっぱい活動してきました。

③高校生対象のワークショップを開催！

11月21日(土) 宮古商業高校JRCの部員の皆さんを対象としたコミュニケーションについてのワークショップを宮古ボランティアセンターで開催しました。

講師は、いつも盛岡YMCAで活動してくれている大学3・4年生のボランティアリーダー、4名。日頃リーダートレーニングで学んできたことを高校生に伝えました。20時間以上もの準備を重ねてのチャレンジとなりました。

当日は、11名の高校生が参加。アイスブレイキングから始まり、午後のグループワークまで、じっくり「ふりかえり」の時間をとりながら、朝の9時から午後の5時まで行いました。



大学生リーダーの活躍した、今回のワークショップも、講師役の皆さんの学びを得ることができました。

リーダー紹介コーナー！

今回のリーダー紹介は、盛岡大学短期大学部幼児教育科一年！チーズこと、小笠原保乃香です！岩手県立大学盛岡短期大学部1年、さそりこと菊池望からの紹介ですよ！

チーズは、今、月曜水泳、水曜水泳、金曜水泳、本町サッカースクール、アドベンチャークラブ、森のようちえんに参加しているリーダーです。きっと誰よりやる気があって、とにかく子供が大好きで、積極的に活動に参加してくれています。11月中旬の2週間は、実習のため子どもたちに合うことができず、いらいらしていました(笑)

チーズが活動に参加すれば、子どもから「チーズ！チーズ！」という声がやみません。その声に応えるように、いつでもどこでも笑っています。にやにやしています。(笑)

チーズは、とにかく負けず嫌い！1年生のリーダーがいっぱいいるからこそ、負けたくない！常に挑戦しています。オンリーワンを目指しています。子どもが一番、子どものためなら何でもできる、そんな心持ちです。はじめは水泳だけだった活動も、日数を増やし、サッカーや野外活動にも参加し始めました。もうYMCA一筋です。素敵です。

学校で学んでいるのも幼児教育。きっと、学んでいることをたくさん生かしてくれています。チーズが楽しんでいる姿、頑張っている姿はまわりに大きな影響を与えています。さそりもその一人です。

これからも活動に参加し続けて、もっともっと魅力的なリーダーになるでしょう…乞うご期待！以上でさそりからのリーダー紹介を終わります。



↑ 左の写真が今回記事を書いたさそりリーダー、そして右がチーズリーダーです！

11/23 街頭募金活動

11月23日(祝)に、YMCA国際協力募金の街頭募金が市内4か所で行われました。当日は、小学生、中学生、高校生、大学生のボランティア、ワイズメンズクラブの皆さん、スタッフ約40名が集合しました。

当日は雨交じりの雪もちらつく中、たくさんの方が足をお止めくださり、募金にご協力下さいました。

また、街頭に立って募金を呼び掛けてくれた子どもたちや大学生リーダーの皆さんも、寒さで顔を真っ赤にしながらも頑張ってくれました。

寒い中募金の呼びかけを行い、お腹をすかせたみんなをお昼に迎えてくれたのは、ワイズメンズクラブの皆さんが作ってくださったあたたかなカレーライス！お腹も心も満たされて、また午後からもがんばることができました。

街頭募金活動にご協力くださった皆さん、本当にありがとうございました。今回、盛岡市民の皆さんから寄せられた募金は、119,313円。日本YMCA同盟を通して、難民支援活動や災害復興支援などをはじめとした、世界の青少年の育成のために使われます。



↑ ワイズメンズクラブの大開さん、長岡さん。前日からカレーを仕込んでくださっていました！



↑ 募金の合間に、ほっと一息、お昼ごはんタイム！おいしいカレーをいただきました。

12月の予定

- ★12月6日(日)
キャンプ説明会
(於:アイーナ)
- ★12月6日(日)
宮古アドベンチャー
「クリスマスリースづくり」
(於:陸中海岸青少年の家)
- ★12月13日(日)
キャンプ説明会
(於:アイーナ)
- ★12月13日(日)
ファミリークリスマス
(於:仁王地区活動センター)
- ★12月15日(火)
火曜水泳Ⅱ期終了
- ★12月16日(水)
盛南スクールⅡ期終了
水曜水泳Ⅱ期終了
- ★12月17日(木)
高松スクールⅡ期終了
向中野スクールⅡ期終了
- ★12月18日(金)
盛北スクールⅡ期終了
金曜水泳Ⅱ期終了
- ★12月19日(土)
本町スクールⅡ期終了
- ★12月19日(土)～20日(日)
1泊リーダートレーニング
- ★12月21日(月)
土淵スクールⅡ期終了
月曜水泳Ⅱ期終了
- ★12月26日(土)～29日(火)
エンジョイスキーキャンプ
(於:八幡平リゾートパノラマスキー場)
- ★12月27日(日)～29日(火)
ジュニアスキーキャンプ
(於:八幡平リゾートパノラマスキー場)
- ★12月30日(水)～1月3日(日)
盛岡YMCA閉館
新年は、1月4日(月)より開館いたします。



表紙の写真から



11月23日に、盛岡市内にて街頭募金が行われました。寒い中、たくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。



君でいいんだよ ～JUST THE WAY “YOU” ARE ⑬～

「Happy Christmas to you.」

私は、20年前のクリスマスを、インドのデカン高原にあるハイデラバードという都市で迎えていた。12月25日といっても、この街は盛岡でいうと9月くらいの気候だ。しかし、夜は結構冷え込む。夕焼けの空をバックにスラム街の丘に建つ教会が美しいシルエットになっていた。そこには、たくさんの人が訪れ混雑していた。インド人の多くはヒンドゥー教を信じており、ハイデラバードYMCAのスタッフに尋ねると、教会を訪れている人の大半はヒンドゥーの人だと言う。ここでのクリスマスは、日本の初詣みたいなものなのかも知れない。

しかし、大きく違うところは、ストリートチルドレンの存在だ。教会の前には素っ裸の子どもたちが走り回っていた。教会を訪れる人達にお金を無心するためだ。こうした子どもたちは街の所で見かけられた。すっかり日が暮れて教会からYMCAに到着するとストリートチルドレンのためにクリスマス会が開催されていた。YMCAの講堂には、200人を超える子ども達が集まっておりボランティアが行う、マジックショーに歓声を上げていた。電気は自家発電、しばしば停電してそのたびにショーは中断する。暗い講堂の中で、ろうそくの明かりに照らされた子どもたちの目がキラキラ光る。子どもたちのお目当ては、YMCAからのクリスマ

ス・プレゼントだ。おもちゃかなと思っていたら、なんとびっくりそれは、毛布。これは毎年恒例だそう。これで、温かいクリスマスの夜を迎えることができる。YMCAをサポートするワイズメンズクラブの方が話してくれた。

今から約2000年前、ユダヤの田舎のバツレヘムという小さな町において世界で初めてのクリスマスが行われた。そこには、羊飼いや、東方の博士といった、ほんの数人しかお祝いに駆けつけてはいなかった。以来、数え切れない回数のクリスマスが何億万人の人たちによって、世界各国で、時には宗教を超えて行われている。これだけの人達にその誕生を祝されているイエス・キリストとはいったいどんな人物だったのだろうか。

ハイデラバードYMCAでのクリスマスが終わり、ホームステイ先のワイズメンズの方の家(ヒンドゥー教の家)に到着すると、シヴァ神の絵の横に、「FOOTPRINTS」という詩が額にいられて飾ってあった。主イエスはこのような生き方をされたに違いない。2016年が皆さんにとって素晴らしい年となりますよう、ボードメンバー、ボランティアリーダー、スタッフ一同よりお祈り申し上げます。

FOOTPRINTS

**One night a man had a dream.
He dreamed he was walking along the beach with the LOAD.
Across the sky flashed scenes from his life.
In the sand: one belonged to him, and other to the LOAD.**

When the last scene of his flashed before him, he looked back at the footprints in the sand.

**He noticed that many times along the path of his life there was only one set of footprints.
He also noticed that it happened at the very lowest and saddest in his life.**

**This really bothered him and he questioned the LOAD about it “LOAD, you said that once I decided to follow you.
You'd walk with me all the way.
But I have noticed that during the most troublesome times in my life, there is only one set of footprints. I don't understand why when I needed you most you would leave me.”**

The LOAD replied, “My precious, precious child, I love you and I would never leave you. During your times of trial and suffering, when you see only one set of footprints, it was then that I carried you.”

ある夜、一人の男が夢を見ました。主と一緒に、砂浜を歩いている夢でした。空に、彼の人生の様々な場面に映し出されています。そして、彼は、それぞれの場面において砂の上に2つの足跡があるのに気が付きました。一つは、彼自身の足跡で、もう一つは、主の足跡です。

彼の人生の最後のシーンが映し出された後、彼は砂の上に記された足跡を振り返ってみました。

ところが、彼は、自分の人生の多くの場面で、足跡が一つしかないことに気づいたのです。そして、その場面とは、彼が、自分の人生で最もつらく、悲しい時だったのです。

彼は、がっかりしました。そして主に尋ねました。「主よ。あなたは、いつも私を見守ってくれる。いつも私と一緒に歩んでくれるとお約束下さいました。しかし、私は自分の人生において、つらく、厳しい時は、いつも足跡が一つしか残されていないことに気づきました。どうして、私が一番あなたを必要としているときに、あなたは私をお離れになっているのですか。」

主は答えられた。「大切な、大切な私の子よ。私は、あなたを愛しています。そして、一時も私は、あなたから離れることはありませんでした。あなたの試練のとき、あなたが苦しんでいるとき、足跡が一つしか残らなかったのは、あなたにとってつらい時、苦しい時、私はあなたを背負って共に歩んでいたからなのです。」



感謝

(2015年度11月31日現在)
五十音順・敬称略

●維持会費

有我啓作 飯島隆輔、家村知佳、池田二郎、一戸貞夫、伊藤克良、伊藤真一、伊藤真太、伊藤愛美、伊藤なとり、井上浩太郎、井上修三、井上優子、今松桂子、鶴丹谷三千代、角晋次、越前谷洋子、遠藤昌樹、大関昭二、岡田治、押切洋、小畑孝子、重石桂司、谷晋次、株、興和電設、川守田浩、神田穂穂一、川坂保宏、北村ユキ、木田孝之、菊地弘生、熊谷圭祐、熊谷太、桑原良幸、熊谷彰、小林茂元、北山憲彦、今野健男、千葉藤恒夫、佐藤翔、清水弘一、杉田弘美、高瀬裕彦、滝川佐波子、田村治之、斎洋子、中原隆徳、長岡和義、長岡正彦、中村圭一、名古屋恒彦、朴正浩、花田隆、濱塚太、濱塚直樹、濱塚真実、濱塚有史、早坂春希、林長也、原寛、人見晃弘、廣川厚子、廣川健太郎、廣川はるな、藤野平、古澤伸、増田隆、松本和也、水谷史明、光岡尚生、水野暢夫、村上大樹、村上才子、森山幹夫、森山幹大、宮崎幸雄、盛岡チャペル、山口貴伸、山崎詩織、吉井啓亮

●寄附金

飯島隆輔、池田二郎、伊藤克良、伊藤真一、今松桂子、鶴丹谷三千代、遠藤昌樹、角谷晋次、神田穂穂一、熊谷圭祐、小畑孝子、重石桂司、川守田浩、早坂春希、原寛、人見晃弘、増田隆、山崎詩織

●東日本大震災被災地支援募金・献品

青木寛、青木恭子、飯島隆輔、岩国みなみワイズメンズクラブ、宇都宮ワイズメンズクラブ、宇都宮東ワイズメンズクラブ、大関昭二、大関昭三、大関昭四、大関昭五、大関昭六、大関昭七、大関昭八、大関昭九、大関昭十、大関昭十一、大関昭十二、大関昭十三、大関昭十四、大関昭十五、大関昭十六、大関昭十七、大関昭十八、大関昭十九、大関昭二十、大関昭二十一、大関昭二十二、大関昭二十三、大関昭二十四、大関昭二十五、大関昭二十六、大関昭二十七、大関昭二十八、大関昭二十九、大関昭三十、大関昭三十一、大関昭三十二、大関昭三十三、大関昭三十四、大関昭三十五、大関昭三十六、大関昭三十七、大関昭三十八、大関昭三十九、大関昭四十、大関昭四十一、大関昭四十二、大関昭四十三、大関昭四十四、大関昭四十五、大関昭四十六、大関昭四十七、大関昭四十八、大関昭四十九、大関昭五十、大関昭五十一、大関昭五十二、大関昭五十三、大関昭五十四、大関昭五十五、大関昭五十六、大関昭五十七、大関昭五十八、大関昭五十九、大関昭六十、大関昭六十一、大関昭六十二、大関昭六十三、大関昭六十四、大関昭六十五、大関昭六十六、大関昭六十七、大関昭六十八、大関昭六十九、大関昭七十、大関昭七十一、大関昭七十二、大関昭七十三、大関昭七十四、大関昭七十五、大関昭七十六、大関昭七十七、大関昭七十八、大関昭七十九、大関昭八十、大関昭八十一、大関昭八十二、大関昭八十三、大関昭八十四、大関昭八十五、大関昭八十六、大関昭八十七、大関昭八十八、大関昭八十九、大関昭九十、大関昭九十一、大関昭九十二、大関昭九十三、大関昭九十四、大関昭九十五、大関昭九十六、大関昭九十七、大関昭九十八、大関昭九十九、大関昭一百、大関昭一百一、大関昭一百二、大関昭一百三、大関昭一百四、大関昭一百五、大関昭一百六、大関昭一百七、大関昭一百八、大関昭一百九、大関昭二百、大関昭二百一、大関昭二百二、大関昭二百三、大関昭二百四、大関昭二百五、大関昭二百六、大関昭二百七、大関昭二百八、大関昭二百九、大関昭三百、大関昭三百一、大関昭三百二、大関昭三百三、大関昭三百四、大関昭三百五、大関昭三百六、大関昭三百七、大関昭三百八、大関昭三百九、大関昭四百、大関昭四百一、大関昭四百二、大関昭四百三、大関昭四百四、大関昭四百五、大関昭四百六、大関昭四百七、大関昭四百八、大関昭四百九、大関昭五百、大関昭五百一、大関昭五百二、大関昭五百三、大関昭五百四、大関昭五百五、大関昭五百六、大関昭五百七、大関昭五百八、大関昭五百九、大関昭六百、大関昭六百一、大関昭六百二、大関昭六百三、大関昭六百四、大関昭六百五、大関昭六百六、大関昭六百七、大関昭六百八、大関昭六百九、大関昭七百、大関昭七百一、大関昭七百二、大関昭七百三、大関昭七百四、大関昭七百五、大関昭七百六、大関昭七百七、大関昭七百八、大関昭七百九、大関昭八百、大関昭八百一、大関昭八百二、大関昭八百三、大関昭八百四、大関昭八百五、大関昭八百六、大関昭八百七、大関昭八百八、大関昭八百九、大関昭九百、大関昭九百一、大関昭九百二、大関昭九百三、大関昭九百四、大関昭九百五、大関昭九百六、大関昭九百七、大関昭九百八、大関昭九百九、大関昭一千、大関昭一千一、大関昭一千二、大関昭一千三、大関昭一千四、大関昭一千五、大関昭一千六、大関昭一千七、大関昭一千八、大関昭一千九、大関昭二千、大関昭二千一、大関昭二千二、大関昭二千三、大関昭二千四、大関昭二千五、大関昭二千六、大関昭二千七、大関昭二千八、大関昭二千九、大関昭三千、大関昭三千一、大関昭三千二、大関昭三千三、大関昭三千四、大関昭三千五、大関昭三千六、大関昭三千七、大関昭三千八、大関昭三千九、大関昭四千、大関昭四千一、大関昭四千二、大関昭四千三、大関昭四千四、大関昭四千五、大関昭四千六、大関昭四千七、大関昭四千八、大関昭四千九、大関昭五千、大関昭五千一、大関昭五千二、大関昭五千三、大関昭五千四、大関昭五千五、大関昭五千六、大関昭五千七、大関昭五千八、大関昭五千九、大関昭六千、大関昭六千一、大関昭六千二、大関昭六千三、大関昭六千四、大関昭六千五、大関昭六千六、大関昭六千七、大関昭六千八、大関昭六千九、大関昭七千、大関昭七千一、大関昭七千二、大関昭七千三、大関昭七千四、大関昭七千五、大関昭七千六、大関昭七千七、大関昭七千八、大関昭七千九、大関昭八千、大関昭八千一、大関昭八千二、大関昭八千三、大関昭八千四、大関昭八千五、大関昭八千六、大関昭八千七、大関昭八千八、大関昭八千九、大関昭九千、大関昭九千一、大関昭九千二、大関昭九千三、大関昭九千四、大関昭九千五、大関昭九千六、大関昭九千七、大関昭九千八、大関昭九千九、大関昭一万、大関昭一万一、大関昭一万二、大関昭一万三、大関昭一万四、大関昭一万五、大関昭一万六、大関昭一万七、大関昭一万八、大関昭一万九、大関昭二万、大関昭二万一、大関昭二万二、大関昭二万三、大関昭二万四、大関昭二万五、大関昭二万六、大関昭二万七、大関昭二万八、大関昭二万九、大関昭三万、大関昭三万一、大関昭三万二、大関昭三万三、大関昭三万四、大関昭三万五、大関昭三万六、大関昭三万七、大関昭三万八、大関昭三万九、大関昭四万、大関昭四万一、大関昭四万二、大関昭四万三、大関昭四万四、大関昭四万五、大関昭四万六、大関昭四万七、大関昭四万八、大関昭四万九、大関昭五万、大関昭五万一、大関昭五万二、大関昭五万三、大関昭五万四、大関昭五万五、大関昭五万六、大関昭五万七、大関昭五万八、大関昭五万九、大関昭六万、大関昭六万一、大関昭六万二、大関昭六万三、大関昭六万四、大関昭六万五、大関昭六万六、大関昭六万七、大関昭六万八、大関昭六万九、大関昭七万、大関昭七万一、大関昭七万二、大関昭七万三、大関昭七万四、大関昭七万五、大関昭七万六、大関昭七万七、大関昭七万八、大関昭七万九、大関昭八万、大関昭八万一、大関昭八万二、大関昭八万三、大関昭八万四、大関昭八万五、大関昭八万六、大関昭八万七、大関昭八万八、大関昭八万九、大関昭九万、大関昭九万一、大関昭九万二、大関昭九万三、大関昭九万四、大関昭九万五、大関昭九万六、大関昭九万七、大関昭九万八、大関昭九万九、大関昭十万、大関昭十万一、大関昭十万二、大関昭十万三、大関昭十万四、大関昭十万五、大関昭十万六、大関昭十万七、大関昭十万八、大関昭十万九、大関昭十一万、大関昭十一万一、大関昭十一万二、大関昭十一万三、大関昭十一万四、大関昭十一万五、大関昭十一万六、大関昭十一万七、大関昭十一万八、大関昭十一万九、大関昭十二万、大関昭十二万一、大関昭十二万二、大関昭十二万三、大関昭十二万四、大関昭十二万五、大関昭十二万六、大関昭十二万七、大関昭十二万八、大関昭十二万九、大関昭十三万、大関昭十三万一、大関昭十三万二、大関昭十三万三、大関昭十三万四、大関昭十三万五、大関昭十三万六、大関昭十三万七、大関昭十三万八、大関昭十三万九、大関昭十四万、大関昭十四万一、大関昭十四万二、大関昭十四万三、大関昭十四万四、大関昭十四万五、大関昭十四万六、大関昭十四万七、大関昭十四万八、大関昭十四万九、大関昭十五万、大関昭十五万一、大関昭十五万二、大関昭十五万三、大関昭十五万四、大関昭十五万五、大関昭十五万六、大関昭十五万七、大関昭十五万八、大関昭十五万九、大関昭十六万、大関昭十六万一、大関昭十六万二、大関昭十六万三、大関昭十六万四、大関昭十六万五、大関昭十六万六、大関昭十六万七、大関昭十六万八、大関昭十六万九、大関昭十七万、大関昭十七万一、大関昭十七万二、大関昭十七万三、大関昭十七万四、大関昭十七万五、大関昭十七万六、大関昭十七万七、大関昭十七万八、大関昭十七万九、大関昭十八万、大関昭十八万一、大関昭十八万二、大関昭十八万三、大関昭十八万四、大関昭十八万五、大関昭十八万六、大関昭十八万七、大関昭十八万八、大関昭十八万九、大関昭十九万、大関昭十九万一、大関昭十九万二、大関昭十九万三、大関昭十九万四、大関昭十九万五、大関昭十九万六、大関昭十九万七、大関昭十九万八、大関昭十九万九、大関昭二十万、大関昭二十万一、大関昭二十万二、大関昭二十万三、大関昭二十万四、大関昭二十万五、大関昭二十万六、大関昭二十万七、大関昭二十万八、大関昭二十万九、大関昭二十一万、大関昭二十万一、大関昭二十一万二、大関昭二十一万三、大関昭二十一万四、大関昭二十一万五、大関昭二十一万六、大関昭二十一万七、大関昭二十一万八、大関昭二十一万九、大関昭二十二万、大関昭二十二万一、大関昭二十二万二、大関昭二十二万三、大関昭二十二万四、大関昭二十二万五、大関昭二十二万六、大関昭二十二万七、大関昭二十二万八、大関昭二十二万九、大関昭二十三万、大関昭二十三万一、大関昭二十三万二、大関昭二十三万三、大関昭二十三万四、大関昭二十三万五、大関昭二十三万六、大関昭二十三万七、大関昭二十三万八、大関昭二十三万九、大関昭二十四万、大関昭二十四万一、大関昭二十四万二、大関昭二十四万三、大関昭二十四万四、大関昭二十四万五、大関昭二十四万六、大関昭二十四万七、大関昭二十四万八、大関昭二十四万九、大関昭二十五万、大関昭二十五万一、大関昭二十五万二、大関昭二十五万三、大関昭二十五万四、大関昭二十五万五、大関昭二十五万六、大関昭二十五万七、大関昭二十五万八、大関昭二十五万九、大関昭二十六万、大関昭二十六万一、大関昭二十六万二、大関昭二十六万三、大関昭二十六万四、大関昭二十六万五、大関昭二十六万六、大関昭二十六万七、大関昭二十六万八、大関昭二十六万九、大関昭二十七万、大関昭二十七万一、大関昭二十七万二、大関昭二十七万三、大関昭二十七万四、大関昭二十七万五、大関昭二十七万六、大関昭二十七万七、大関昭二十七万八、大関昭二十七万九、大関昭二十八万、大関昭二十八万一、大関昭二十八万二、大関昭二十八万三、大関昭二十八万四、大関昭二十八万五、大関昭二十八万六、大関昭二十八万七、大関昭二十八万八、大関昭二十八万九、大関昭二十九万、大関昭二十九万一、大関昭二十九万二、大関昭二十九万三、大関昭二十九万四、大関昭二十九万五、大関昭二十九万六、大関昭二十九万七、大関昭二十九万八、大関昭二十九万九、大関昭三十万、大関昭三十万一、大関昭三十万二、大関昭三十万三、大関昭三十万四、大関昭三十万五、大関昭三十万六、大関昭三十万七、大関昭三十万八、大関昭三十万九、大関昭三十一万、大関昭三十一万一、大関昭三十一万二、大関昭三十一万三、大関昭三十一万四、大関昭三十一万五、大関昭三十一万六、大関昭三十一万七、大関昭三十一万八、大関昭三十一万九、大関昭三十二万、大関昭三十二万一、大関昭三十二万二、大関昭三十二万三、大関昭三十二万四、大関昭三十二万五、大関昭三十二万六、大関昭三十二万七、大関昭三十二万八、大関昭三十二万九、大関昭三十三万、大関昭三十三万一、大関昭三十三万二、大関昭三十三万三、大関昭三十三万四、大関昭三十三万五、大関昭三十三万六、大関昭三十三万七、大関昭三十三万八、大関昭三十三万九、大関昭三十四万、大関昭三十四万一、大関昭三十四万二、大関昭三十四万三、大関昭三十四万四、大関昭三十四万五、大関昭三十四万六、大関昭三十四万七、大関昭三十四万八、大関昭三十四万九、大関昭三十五万、大関昭三十五万一、大関昭三十五万二、大関昭三十五万三、大関昭三十五万四、大関昭三十五万五、大関昭三十五万六、大関昭三十五万七、大関昭三十五万八、大関昭三十五万九、大関昭三十六万、大関昭三十六万一、大関昭三十六万二、大関昭三十六万三、大関昭三十六万四、大関昭三十六万五、大関昭三十六万六、大関昭三十六万七、大関昭三十六万八、大関昭三十六万九、大関昭三十七万、大関昭三十七万一、大関昭三十七万二、大関昭三十七万三、大関昭三十七万四、大関昭三十七万五、大関昭三十七万六、大関昭三十七万七、大関昭三十七万八、大関昭三十七万九、大関昭三十八万、大関昭三十八万一、大関昭三十八万二、大関昭三十八万三、大関昭三十八万四、大関昭三十八万五、大関昭三十八万六、大関昭三十八万七、大関昭三十八万八、大関昭三十八万九、大関昭三十九万、大関昭三十九万一、大関昭三十九万二、大関昭三十九万三、大関昭三十九万四、大関昭三十九万五、大関昭三十九万六、大関昭三十九万七、大関昭三十九万八、大関昭三十九万九、大関昭四十万、大関昭四十万一、大関昭四十万二、大関昭四十万三、大関昭四十万四、大関昭四十万五、大関昭四十万六、大関昭四十万七、大関昭四十万八、大関昭四十万九、大関昭四十一万、大関昭四十一万一、大関昭四十一万二、大関昭四十一万三、大関昭四十一万四、大関昭四十一万五、大関昭四十一万六、大関昭四十一万七、大関昭四十一万八、大関昭四十一万九、大関昭四十二万、大関昭四十二万一、大関昭四十二万二、大関昭四十二万三、大関昭四十二万四、大関昭四十二万五、大関昭四十二万六、大関昭四十二万七、大関昭四十二万八、大関昭四十二万九、大関昭四十三万、大関昭四十三万一、大関昭四十三万二、大関昭四十三万三、大関昭四十三万四、大関昭四十三万五、大関昭四十三万六、大関昭四十三万七、大関昭四十三万八、大関昭四十三万九、大関昭四十四万、大関昭四十四万一、大関昭四十四万二、大関昭四十四万三、大関昭四十四万四、大関昭四十四万五、大関昭四十四万六、大関昭四十四万七、大関昭四十四万八、大関昭四十四万九、大関昭四十五万、大関昭四十五万一、大関昭四十五万二、大関昭四十五万三、大関昭四十五万四、大関昭四十五万五、大関昭四十五万六、大関昭四十五万七、大関昭四十五万八、大関昭四十五万九、大関昭四十六万、大関昭四十六万一、大関昭四十六万二、大関昭四十六万三、大関昭四十六万四、大関昭四十六万五、大関昭四十六万六、大関昭四十六万七、大関昭四十六万八、大関昭四十六万九、大関昭四十七万、大関昭四十七万一、大関昭四十七万二、大関昭四十七万三、大関昭四十七万四、大関昭四十七万五、大関昭四十七万六、大関昭四十七万七、大関昭四十七万八、大関昭四十七万九、大関昭四十八万、大関昭四十八万一、大関昭四十八万二、大関昭四十八万三、大関昭四十八万四、大関昭四十八万五、大関昭四十八万六、大関昭四十八万七、大関昭四十八万八、大関昭四十八万九、大関昭四十九万、大関昭四十九万一、大関昭四十九万二、大関昭四十九万三、大関昭四十九万四、大関昭四十九万五、大関昭四十九万六、大関昭四十九万七、大関昭四十九万八、大関昭四十九万九、大関昭五十万、大関昭五十万一、大関昭五十万二、大関昭五十万三、大関昭五十万四、大関昭五十万五、大関昭五十万六、大関昭五十万七、大関昭五十万八、大関昭五十万九、大関昭五十一万、大関昭五十一万一、大関昭五十一万二、大関昭五十一万三、大関昭五十一万四、大関昭五十一万五、大関昭五十一万六、大関昭五十一万七、大関昭五十一万八、大関昭五十一万九、大関昭五十二万、大関昭五十二万一、大関昭五十二万二、大関昭五十二万三、大関昭五十二万四、大関昭五十二万五、大関昭五十二万六、大関昭五十二万七、大関昭五十二万八、大関昭五十二万九、大関昭五十三万、大関昭五十三万一、大関昭五十三万二、大関昭五十三万三、大関昭五十三万四、大関昭五十三万五、大関昭五十三万六、大関昭五十三万七、大関昭五十三万八、大関昭五十三万九、大関昭五十四万、大関昭五十四万一、大関昭五十四万二、大関昭五十四万三、大関昭五十四万四、大関昭五十四万五、大関昭五十四万六、大関昭五十四万七、大関昭五十四万八、大関昭五十四万九、大関昭五十五万、大関昭五十五万一、大関昭五十五万二、大関昭五十五万三、大関昭五十五万四、大関昭五十五万五、大関昭五十五万六、大関昭五十五万七、大関昭五十五万八、大関昭五十五万九、大関昭五十六万、大関昭五十六万一、大関昭五十六万二、大関昭五十六万三、大関昭五十六万四、大関昭五十六万五、大関昭五十六万六、大関昭五十六万七、大関昭五十六万八、大関昭五十六万九、大関昭五十七万、大関昭五十七万一、大関昭五十七万二、大関昭五十七万三、大関昭五十七万四、大関昭五十七万五、大関昭五十七万六、大関昭五十七万七、大関昭五十七万八、大関昭五十七万九、大関昭五十八万、大関昭五十八万一、大関昭五十八万二、大関昭五十八万三、大関昭五十八万四、大関昭五十八万五、大関昭五十八万六、大関昭五十八万七、大関昭五十八万八、大関昭五十八万九、大関昭五十九万、大関昭五十九万一、大関昭五十九万二、大関昭五十九万三、大関昭五十九万四、大関昭五十九万五、大関昭五十九万六、大関昭五十九万七、大関昭五十九万八、大関昭五十九万九、大関昭六十万、大関昭六十万一、大関昭六十万二、大関昭六十万三、大関昭六十万四、大関昭六十万五、大関昭六十万六、大関昭六十万七、大関昭六十万八、大関昭六十万九、大関昭六十一万、大関昭六十一万一、大関昭六十一万二、大関昭六十一万三、大関昭六十一万四、大関昭六十一万五、大関昭六十一万六、大関昭六十一万七、大関昭六十一万八、大関昭六十一万九、大関昭六十二万、大関昭六十二万一、大関昭六十二万二、大関昭六十二万三、大関昭六十二万四、大関昭六十二万五、大関昭六十二万六、大関昭六十二万七、大関昭六十二万八、大関昭六十二万九、大関昭六十三万、大関昭六十三万一、大関昭六十三万二、大関昭六十三万三、大関昭六十三万四、大関昭六十三万五、大関昭六十三万六、大関昭六十三万七、大関昭六十三万八、大関昭六十三万九、大関昭六十四万、大関昭六十四万一、大関昭六十四万二、大関昭六十四万三、大関昭六十四万四、大関昭六十四万五、大関昭六十四万六、大関昭六十四万七、大関昭六十四万八、大関昭六十四万九、大関昭六十五万、大関昭六十五万一、大関昭六十五万二、大関昭六十五万三、大関昭六十五万四、大関昭六十五万五、大関昭六十五万六、大関昭六十五万七、大関昭六十五万八、大関昭六十五万九、大関昭六十六万、大関昭六十六万一、大関昭六十六万二、大関昭六十六万三、大関昭六十六万四、大関昭六十六万五、大関昭六十六万六、大関昭六十六万七、大関昭六十六万八、大関昭六十六万九、大関昭六十七万、大関昭六十七万一、大関昭六十七万二、大関昭六十七万三、大関昭六十七万四、大関昭六十七万五、大関昭六十七万六、大関昭六十七万七、大関昭六十七万八、大関昭六十七万九、大関昭六十八万、大関昭六十八万一、大関昭六十八万二、大関昭六十八万三、大関昭六十八万四、大関昭六十八万五、大関昭六十八万六、大関昭六十八万七、大関昭六十八万八、大関昭六十八万九、大関昭六十九万、大関昭六十九万一、大関昭六十九万二、大関昭六十九万三、大関昭六十九万四、大関昭六十九万五、大関昭六十九万六、大関昭六十九万七、大関昭六十九万八、大関昭六十九万九、大関昭七十万、大関昭七十万一、大関昭七十万二、大関昭七十万三、大関昭七十万四、大関昭七十万五、大関昭七十万六、大関昭七十万七、大関昭七十万八、大関昭七十万九、大関昭七十一万、大関昭七十一万一、大関昭七十一万二、大関昭七十一万三、大関昭七十一万四、大関昭七十一万五、大関昭七十一万六、大関昭七十一万七、大関昭七十一万八、大関昭七十一万九、大関昭七十二万、大関昭七十二万一、大関昭七十二万二、大関昭七十二万三、大関昭七十二万四、大関昭七十二万五、大関昭七十二万六、大関昭七十二万七、大関昭七十二万八、大関昭七十二万九、大関昭七十三万、大関昭七十三万一、大関昭七十三万二、大関昭七十三万三、大関昭七十三万四、大関昭七十三万五、大関昭七十三万六、大関昭七十三万七、大関昭七十三万八、大関昭七十三万九、大関昭七十四万、大関昭七十四万一、大関昭七十四万二、大関昭七十四万三、大関昭七十四万四、大関昭七十四万五、大関昭七十四万六、大関昭七十四万七、大関昭七十四万八、大関昭七十四万九、大関昭七十五万、大関昭七十五万一、大関昭七十五万二、大関昭七十五万三、大関昭七十五万四、大関昭七十五万五、大関昭七十五万六、大関昭七十五万七、大関昭七十五万八、大関昭七十五万九、大関昭七十六万、大関昭七十六万一、大関昭七十六万二、大関昭七十六万三、大関昭七十六万四、大関昭七十六万五、大関昭七十六万六、大関昭七十六万七、大関昭七十六万八、大関昭七十六万九、大関昭七十七万、大関昭七十七万一、大関昭七十七万二、大関昭七十七万三、大関昭七十七万四、大関昭七十七万五、大関昭七十七万六、大関昭七十七万七、大関昭七十七万八、大関昭七十七万九、大関昭七十八万、大関昭七十八万一、大関昭七十八万二、大関昭七十八万三、大関昭七十八万四、大関昭七十八万五、大関昭七十八万六、大関昭七十八万七、大関昭七十八万八、大関昭七十八万九、大関昭七十九万、大関昭七十九万一、大関昭七十九万二、大関昭七十九万三、大関昭七十九万四、大関昭七十九万五、大関昭七十九万六、大関昭七十九万七、大関昭七十九万八、大関昭七十九万九、大関昭八十万、大関昭八十万一、大関昭八十万二、大関昭八十万三、大関昭八十万四、大関昭八十万五、大関昭八十万六、大関昭八十万七、大関昭八十万八、大関昭八十万九、大関昭八十一万、大関昭八十一万一、大関昭八十一万二、大関昭八十一万三、大関昭八十一万四、大関昭八十一万五、大関昭八十一万六、大関昭八十一万七、大関昭八十一万八、大関昭八十一万九、大関昭八十二万、大関昭八十二万一、大関昭八十二万二、大関昭八十二万三、大関昭八十二万四、大関昭八十二万五、大関昭八十二万六、大関昭八十二万七、大関昭八十二万八、大関昭八十二万九、大関昭八十三万、大関昭八十三万一、大関昭八十三万二、大関昭八十三万三、大関昭八十三万四、大関昭八十三万五、大関昭八十三万六、大関昭八十三万七、大関昭八十三万八、大関昭八十三万九、大関昭八十四万、大関昭八十四万一、大関昭八十四万二、大関昭八十四万三、大関昭八十四万四、大関昭八十四万五、大関昭八十四万六、大関昭八十四万七、大関昭八十四万八、大関昭八十四万九、大関昭八十五万、大関昭八十五万一、大関昭八十五万二、大関昭八十五万三、大関昭八十五万四、大関昭八十五万五、大関昭八十五万六、大関昭八十五万七、大関昭八十五万八、大関昭八十五万九、大関昭八十六万、大関昭八十六万一、大関昭八十六万二、大関昭八十六万三、大関昭八十六万四、大関昭八十六万五、大関昭八十六万六、大関昭八十六万七、大関昭八十六万八、大関昭八十六万九、大関昭八十七万、大関昭八十七万一、大関昭八十七万二、大関昭八十七万三、大関昭八十七万四、大関昭八十七万五、大関昭八十七万六、大関昭八十七万七、大関昭八十七万八、大関昭八十七万九、大関昭八十八万、大関昭八十八万一、大関昭八十八万二、大関昭八十八万三、大関昭八十八万四、大関昭八十八万五、大関昭八十八万六、大関昭八十八万七、大関昭八十八万八、大関昭八十八万九、大関昭八十九万、大関昭八十九万一、大関昭八十九万二、大関昭八十九万三、大関昭八十九万四、大関昭八十九万五、大関昭八十九万六、大関昭八十九万七、大関昭八十九万八、大関昭八十九万九、大関昭九十万、大関昭九十万一、大関昭九十万二、大関昭九十万三、大関昭九十万四、大関昭九十万五、大関昭九十万六、大関昭九十万七、大関昭九十万八、大関昭九十万九、大関昭九十一万、大関昭九十一万一、大関昭九十一万二、大関昭九十一万三、大関昭九十一万四、大関昭九十一万五、大関昭九十一万六、大関昭九十一万七、大関昭九十一万八、大関昭九十一万九、大関昭九十二万、大関昭九十二万一、大関昭九十二万二、大関昭九十二万三、大関昭九十二万四、大関昭九十二万五、大関昭九十二万六、大関昭九十二万七、大関昭九十二万八、大関昭九十二万九、大関昭九十三万、大関昭九十三万一、大関昭九十三万二、大関昭九十三万三、大関昭九十三万四、大関昭九十三万五、大関昭九十三万六、大関昭九十三万七、大関昭九十三万八、大関昭九十三万九、大関昭九十四万、大関昭九十四万一、大関昭九十四万二、大関昭九十四万三、大関昭九十四万四、大関昭九十四万五、大関昭九十四万六、大関昭九十四万七、大関昭九十四万八、大関昭九十四万九、大関昭九十五万、大関昭九十五万一、大関昭九十五万二、大関昭九十五万三、大関昭九十五万四、大関昭九十五万五、大関昭九十五万六、大関昭九十五万七、大関昭九十五万八、大関昭九十五万九、大関昭九十六万、大関昭九十六万一、大関昭九十六万二、大関昭九十六万三、大関昭九十六万四、大関昭九十六万五、大関昭九十六万六、大関昭九十六万七、大関昭九十六万八、大関昭九十六万九、大関昭九十七万、大関昭九十七万一、大関昭九十七万二、大関昭九十七万三、大関昭九十七万四、大関昭九十七万五、大関昭九十七万六、大関昭九十七万七、大関昭九十七万八、大関昭九十七